

施策が目指すまちの姿

誰もが健康に暮らせるしあわせのまち

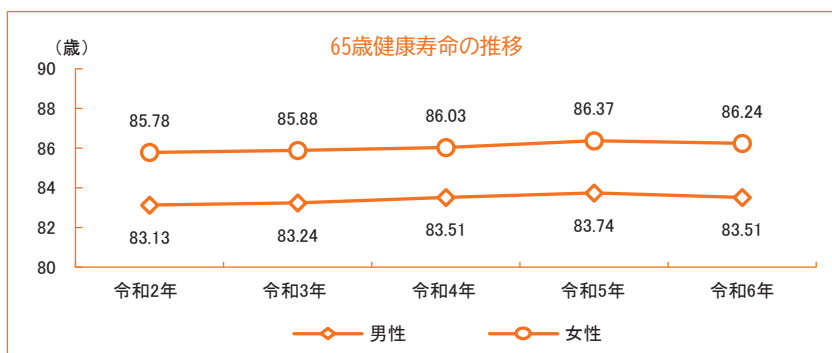
市民の誰もが身近な生活の場の中で健康づくりに取り組み、楽しく無理なく健康になっています。

社会情勢・現状

- 高齢化や生活習慣の変化などにより、各人の健康課題も多様化しており、集団や個人の特性を踏まえた健康づくりや産学官など多様な主体による連携が重要視されています。
- 本市では令和4（2022）年度から埼玉医科大学との共同研究により、特定保健指導における「減塩プログラム」を実施しているほか、市内企業等での健康づくりに関して、令和6（2024）年度までに35社が健康づくり宣言企業となっています。
- こころの健康づくりについて、市民を対象とした講演や、中学生への自殺対策として「SOSの出し方に関する教育」を継続して実施しています。
- 市内の初期救急医療体制、第二次救急医療体制の確保、山間地域の医療拠点など、ニーズに対応した医療を提供しています。
- 被保険者証の廃止により、マイナ保険証・資格確認書を基本とした仕組みに移行しています。関係課と連携し、納税（納付）意識の高揚及び収納率の向上、特定健康診査等の推進及び受診率の向上に努めています。

問題点・課題

- 運動、食事・栄養などの各分野において健康づくりへの関心が低い層が見られることから、集団や個人の特性に応じて健康づくりの周知啓発を効果的に行う必要があります。
- 特定保健指導実施率は、毎年目標値に大きく届かないことから、特定保健指導*1の実施方法・勧奨方法を見直す必要があります。また、本市では、がん検診の受診率が低く、受診率を高めることで、がんの早期発見・早期治療に結び付ける必要があります。
- こどもの自殺対策に関わる取組の強化に向けて、教育部門とのさらなる連携が必要となっています。
- 山間地域の医療拠点は、身近なかかりつけ医又は相談窓口として、関係機関と連携し、市民が住み慣れた地域で安心して生活できるようサポート体制を強化する必要があります。



*1 特定保健指導

生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、専門スタッフ（保健師、管理栄養士など）が生活習慣を見直すサポートをすること。



本施策を推進する個別計画

- 飯能市健康のまちづくり計画 ○ 飯能市自殺対策計画
- 飯能市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）・飯能市国民健康保険特定健康診査等実施計画

主な取組

1 市民が健康になれるまちづくりの推進

- ①楽しく無理なく健康が身につく環境づくり
- ②健康な生活習慣が定着する仕組みづくり
- ③食育の推進

2 「生きることの包括的な支援」の推進

戦略

- ①地域におけるネットワークの強化と人材の育成
- ②こころの健康・精神保健に関する普及啓発の拡充
- ③自殺防止のための支援

3 地域医療体制の整備

戦略

強靱

- ①地域のニーズに応じた医療サービスの提供
- ②初期及び第二次救急医療体制の維持

4 国民健康保険・後期高齢者医療制度の健全な運営

- ①収納率の向上及び医療費の適正化
- ②重症化予防、適正受診の推進

評価指標

評価指標	指標の説明	基準値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
65歳健康寿命	介護を必要とせず、健康で日常生活を支障なく送ることができる平均年齢 (埼玉県衛生研究所「健康指標総合ソフト」より算出)	男性 83.51 歳 女性 86.24 歳	男性 84.45 歳 女性 87.11 歳

地域福祉・生活支援

施策が目指すまちの姿

誰もが誰かの「笑顔のもと」となり、生きがいを感じられる孤立のないまち

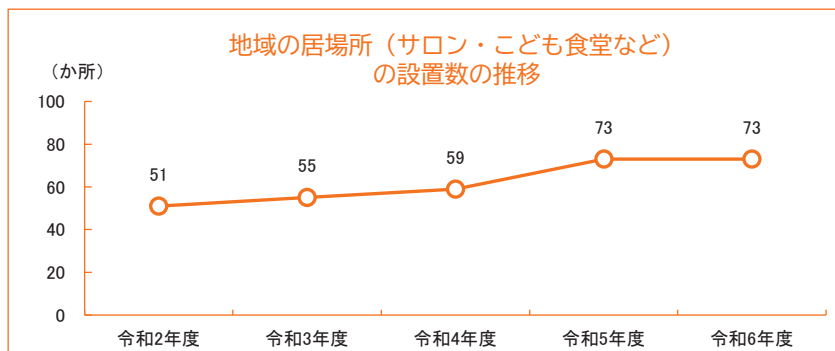
日々の人と人とのつながりや様々な助け合いの活動が大切にされ、誰もが安心して暮らしています。

社会情勢・現状

- 高齢化・人口減少が進行している中、福祉ニーズも多様化・複雑化しています。人口減による担い手の不足や、血縁、地縁、社縁といったつながりが弱まっている現状を踏まえ、人と人、人と社会がつながり支え合う取組が生まれやすいような環境を整える新たなアプローチが求められています。
- 社会的孤立をはじめとして、既存の制度の対象となりにくいケースや、8050問題*1などの複合的な課題がある場合など、課題ごとの対応に加えてこれらの課題全体を捉えて関わっていくことが必要なケースが存在しています。
- 圏域ごとに地域福祉推進組織の設立を支援しており、現在活動する8団体は、地域の課題解決に向け、地域住民が主体となり地域の特性を生かした様々な事業を展開しています。
- 生活困窮の背景には、雇用の不安定化や家族形態の変化、高齢化、所得格差など複数の要因が存在しています。

問題点・課題

- 従来、地域福祉の担い手は仕事をリタイアした方が中心でしたが、定年延長などが進み、担い手の確保の問題が顕在化しており、現役世代を担い手として取り込むことが必要です。
- 8050問題やヤングケアラー*2など、複合的な課題を抱えている人を適切な支援に繋げていくために、多機関協働体制の強化を図るとともに、気軽に相談できる場所の整備が必要です。
- 課題を抱える人が制度の狭間に陥ることなく、適切な支援が受けられるよう包括的な支援体制の整備に取り組む必要があります。
- 生活困窮者など課題を抱えた人の早期発見や見守り、社会とのつながりを作るために、地域ネットワークの構築や「支える・支えられる」という一方的な関係でなく「相互に支え合う」地域づくりが望まれます。





本施策を推進する個別計画

- はんのうふくしの森プラン

主な取組

1 交流や支え合いの仕組みづくり

戦略

強靱

- ①地域の居場所などの交流の場づくり
- ②外出支援など地域の実状に合わせた支え合いの仕組みづくり
- ③福祉への理解を深める学習の推進
- ④ボランティア活動への支援など多様な主体との連携

2 安心して暮らせる仕組みづくり

戦略

- ①制度やサービスにつながる環境づくり（包括的支援体制*3の整備）
- ②生活困窮者支援の充実

評価指標

評価指標	指標の説明	基準値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
地域の居場所の設置数	市内で地域の居場所（サロン・子ども食堂など）を設置している数	73 か所	79 か所
生活困窮者自立相談支援の実施件数	自立相談支援員*4による自立支援計画の年間作成件数	5 件	5 件
生活困窮者への住居確保支援件数	住居確保給付金による年間支援件数	0 件	2 件

*1 8050問題（p.60） 80代の親と50代のひきこもり状態の子が同居する世帯の孤立化・困窮化に伴う様々な問題のこと。

*2 ヤングケアラー（p.60） 本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども・若者のこと。

*3 包括的支援体制 地域共生社会の実現のため、地域住民や支援関係機関等が、地域福祉推進の協力が円滑に行われ、地域生活課題の解決に役立つ支援が包括的に提供される体制のことで、社会福祉法に基づき、市町村の努力義務となっている。

*4 自立相談支援員 生活に困窮している人に対し、生活保護に至る前の段階で、課題がより複雑化・深刻化する前に自立の促進を図る、自立相談支援事業に従事する支援員のこと。

施策が目指すまちの姿

いつまでも誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

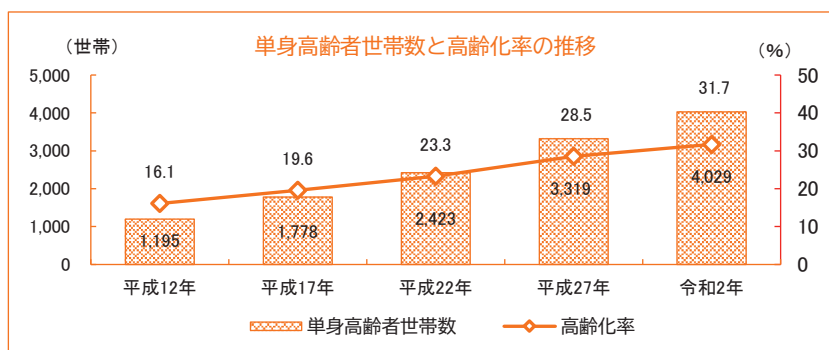
一人一人の高齢者がお互いに支え合い、元気で活動的で、安心して、その人らしく暮らしています。

社会情勢・現状

- 超高齢化社会を迎えている中、本市においても単身高齢者・高齢者のみ世帯が増加しています。
- 高齢者人口の増加を背景に今後ますます認知症の人は増加していくものと予測されます。認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域づくりが求められています。
- 高齢者が働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の活性化に貢献する組織であるシルバー人材センターへの運営補助を行っています。
- 本市では、ホームページや広報はんのうで介護保険制度の周知を図っている一方で、要介護等認定者や認知症高齢者の増加に対して、介護従事者が不足している状況となっています。

問題点・課題

- 介護保険制度の周知を図るとともに、認知症に関する正しい理解を促進する必要があります。
- 高齢者を支える、支え合い活動団体のメンバーの高齢化も進んでいることから、新たな人材の確保と、支え合い活動団体のスキルアップが必要となっています。
- 必要な介護サービスの確保を図る上で、介護従事者を確保するための仕組みを構築する必要があります。





本施策を推進する個別計画

- 飯能市介護保険事業計画及び老人福祉計画
- 飯能市成年後見制度利用促進基本計画

主な取組

1 飯能市版地域包括ケアシステムの深化・推進

戦略

- ①在宅医療・介護の連携
- ②認知症施策の推進
- ③包括的・継続的なマネジメント体制の強化

2 介護予防の推進

戦略

- ①自立支援・介護予防・重度化防止の推進
- ②社会参加、生きがいある地域づくりの推進

3 介護給付費等対象サービスの確保

- ①介護保険サービスの質の維持・向上
- ②必要なサービス量の確保のための取組の推進

4 地域共生社会の実現

強靱

- ①住民主体による支え合い活動の推進
- ②成年後見制度の利用促進

評価指標

評価指標	指標の説明	基準値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
認知症カフェの利用者数	相談できる「集いの場」としての認知症カフェ（ひだまりカフェ）の年間延べ利用者数（ボランティア含む）	1,872人	2,700人
住民主体によるサービス提供団体数	介護予防・日常生活支援総合事業に基づく、住民主体によるサービス提供団体数（各年度3月31日時点）	9団体	11団体

施策が目指すまちの姿

誰もがお互いを尊重し合い、ともに輝いて生きるまち

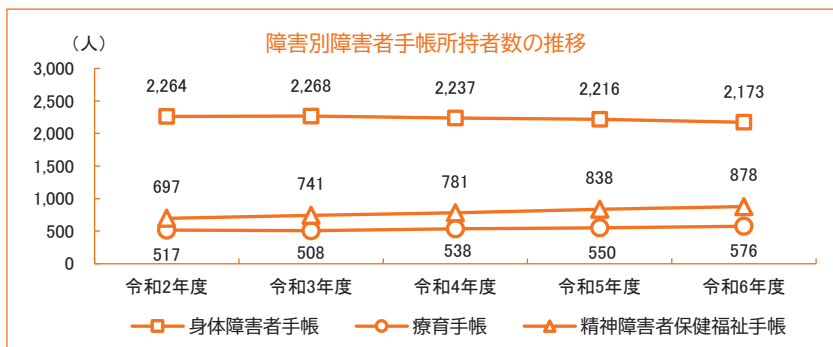
障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合い、自らの能力を最大限発揮しています。

社会情勢・現状

- ソーシャルインクルージョン*¹の理念により、障害のある人もない人も分け隔てなく安心して暮らせる地域共生社会の実現に向けた取組を推進するため、障害福祉サービス等の提供体制の充実に併せて、障害のある人の意思決定の支援、社会参加のための合理的配慮や差別解消のための建設的な対話等「障害の社会モデル」を基本とした環境整備が求められています。
- 本市では、すこやか福祉相談センターと基幹相談支援センター*²により、増加傾向にある個別相談に対応しています。また、障害者就労支援センター*³により、障害のある人の多様な働き方への支援を行っています。しかし、居住の場の確保など、障害のある人が、地域生活で生活していくための整備が必要とされています。
- 令和6（2024）年度に、「飯能市手話言語の普及及び障害の特性に応じた多様な意思疎通手段の利用の促進に関する条例」を制定しています。

問題点・課題

- 障害のある人への差別や偏見は根強く残っており、生活のしづらさを抱えている現状があります。障害への差別や偏見を解消していくために、市民に対する適切な情報を提供していくことが必要です。
- 障害のある人が地域で暮らすための居住支援、多様な働き方を支援する就労支援、相談支援事業を含めた障害福祉サービスの提供体制の確保と、適正な運営に向けた管理体制を整備することが必要となっています。
- 支援の質の向上に向けた相談支援専門員等福祉人材の確保と研修機会の提供による人材育成が必要となっています。





本施策を推進する個別計画

- 飯能市障害者計画 ○ 飯能市障害福祉計画 ○ 飯能市地域防災計画
- 飯能市成年後見制度利用促進基本計画

主な取組

1 障害を正しく理解できる環境づくり

- ①福祉意識の醸成と地域の福祉力の向上
- ②障害者差別の解消と権利擁護の推進

2 地域の相談支援体制と生活支援の充実

戦略

- ①包括的な相談支援体制の充実
- ②障害特性やニーズに応じた生活支援

3 様々な場面での合理的配慮と社会参加の充実

強靱

- ①インクルーシブ社会*4 に向けた基盤の整備
- ②多様な就労と活動に向けた支援

評価指標

評価指標	指標の説明	基準値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
精神障害のある人の地域移行支援	1年間に障害福祉サービスの地域移行支援を利用して地域移行した人数	1人	5人
障害者差別解消の推進	1年間に障害者差別事案の紛争解決に向けて障害者差別解消協議会を設置し、開催した回数	—	2回

*1 ソーシャルインクルージョン (p. 64) 全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合うという理念のこと。

*2 基幹相談支援センター (p. 64) 地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として、障害者相談支援事業及び成年後見制度利用支援事業並びに身体障害者、知的障害者及び精神障害者に対する相談等の業務を総合的に行う機関のこと。

*3 障害者就労支援センター (p. 64) 障害者の職業生活における自立を図るため、雇用、保健、福祉、教育等の関係機関との連携の下、障害者の身近な地域において就業面及び生活面における一体的な支援を行い、障害者の雇用の促進及び安定を図ることを目的として設置されている施設のこと。

*4 インクルーシブ社会 社会を構成する全ての人は、多様な属性やニーズを持っていることを前提として、障害の有無、性別、年齢、国籍、宗教など、あらゆる多様性を認め、全ての人が支え合いながら共に生活できる社会のこと。

施策
16

防災・消防

施策が目指すまちの姿

誰もが安全・安心に暮らし続けることができるまち

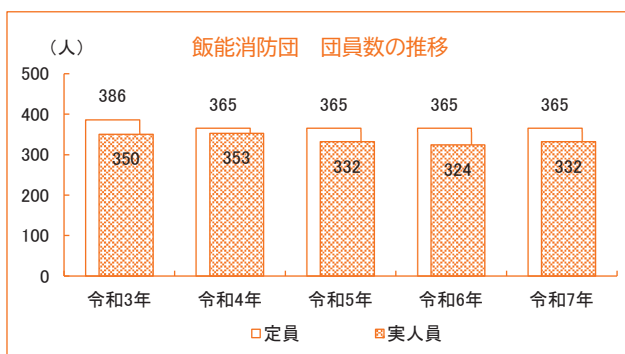
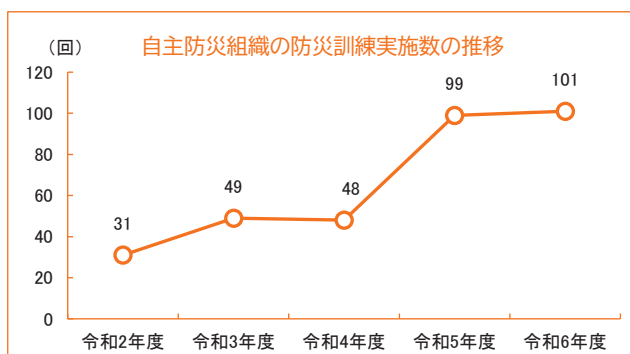
自助・共助の意識が高まり、予防・初動・復旧が一体化した地域防災力の高いまちになっています。

社会情勢・現状

- 災害時の避難所生活環境の様々な課題を踏まえ、環境整備や物資の充実などの取組が進められています。
- 本市では、自治会、学校、地域住民などからの依頼を受けて、防災に関する出前講座を随時実施しているほか、災害時の自助・共助の取組が重要であるため、日頃からの備えや地域とのつながりを作ることなど周知啓発を行っています。
- 災害時における消防団員の出動回数の増加、活動内容の複雑化・多様化が進んでいる一方で、全国的に消防団への加入が減少しています。

問題点・課題

- 自主防災組織は自治会で構成されていますが、自治会加入世帯の減少や自治会員の高齢化が進行している地域があるほか、災害時要援護登録者への地域支援者設定が難しい地域があることから、災害時に各地域での特性に応じた自助・共助の取組が必要です。
- 災害時は誰でも近くの避難所に避難できるものであり、「その運営は避難所にいる人達で行う」という基本を広く伝えていくことが必要となっています。
- 地域への帰属意識の低下、市内就労者の減少、消防団員の主力となる20代から30代の若者が少ない状況で、条例定数の団員数を確保できていないことから、消防団員の確保が必要となっています。また、消防団が地域の安全・安心を支えており、消防団の活動内容と役割を周知していく必要があります。





本施策を推進する個別計画

- 飯能市地域防災計画
- 国民の保護に関する飯能市計画

主な取組

1 自助・共助の意識の醸成と活動の促進 強靱

- ① 地域特性に応じた取組・活動の支援
- ② 一人一人の防災意識の高揚のための啓発

2 防災・減災のための体制の充実 戦略 強靱

- ① 避難所等の環境整備や物資の充実
- ② 公民連携による地域防災力の強化

3 消防・救急体制の整備 強靱

- ① 消防団の新規入団者の確保
- ② 救急・救助体制の整備

評価指標

評価指標	指標の説明	基準値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
災害時応援協定締結数	災害時の救助支援に係る対応や物資輸送など、民間企業等との応援協定の締結累計数	90件	100件
消防団の新規入団者数	年度ごとの新規消防団入団者数	23人	26人



施策
17

防犯・交通安全

施策が目指すまちの姿

犯罪や交通事故が少なく安心して生活できるまち

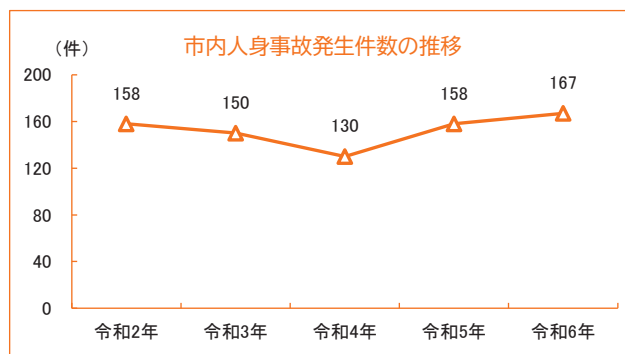
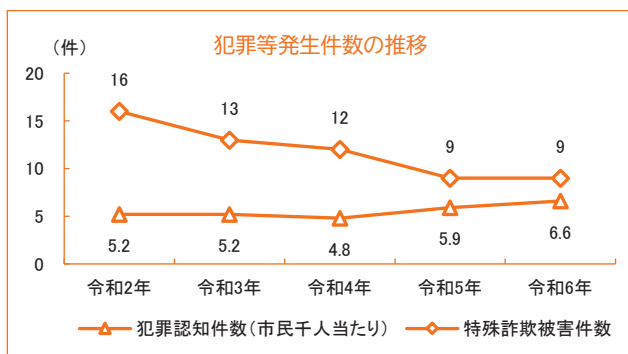
市民、地域、行政等の連携によって安全に対する意識が高まり、全ての年代の人が安全・安心に暮らしています。

社会情勢・現状

- 高齢者を狙った特殊詐欺やインターネットを利用した詐欺など犯罪の手口が巧妙化しているほか、SNS やインターネットの掲示板などで犯罪の実行者を募集する闇バイトなどにより、強盗事件や詐欺といった犯罪が増加しており、年代問わず様々な被害が発生しています。
- 市内各所への防犯灯の設置、自主防犯グループの活動支援、警察等の関係機関と連携した防犯講座、青色回転灯装着車によるパトロール、防犯街頭キャンペーンを実施しています。
- 携帯端末の多機能化やインターネットの普及により、SNS をきっかけにした消費者トラブルや中高年層の被害が増加していることから、消費生活センターでは国家資格をもった消費生活相談員が対応しているほか、小・中学校へ消費者教育のための冊子の配布を行っています。
- 交通安全教室や交通安全街頭キャンペーンの実施による意識啓発、交通安全施設の新規設置及び維持管理、児童の登下校時の交通安全立哨員の配置などを実施しています。

問題点・課題

- 本市においても特殊詐欺等が発生しており、市民が犯罪被害にあわないため、引き続き啓発活動を行い、防犯意識の向上に努める必要があります。
- 防犯灯の設置や防犯啓発活動などを通じて、犯罪が起きにくい環境整備を進める必要があります。
- 様々な消費生活相談に対応できるよう相談員の研修など相談体制の強化をしていくとともに、福祉部局などの関係団体と協力し、連携した消費者被害防止対策に取り組む必要があります。
- 市内では歩行中や自転車乗車中の交通事故、高齢者による重大事故が増加していることから、交通ルールの遵守の周知、児童への交通安全教室をはじめ、様々な機会を通じて交通安全に対する意識の醸成が必要です。





主な取組

1 防犯のまちづくり

- ①市民の防犯意識を高める啓発活動
- ②自主防犯団体の活性化

2 賢い消費生活の実現

- ①消費者問題の解消
- ②消費者教育と啓発

3 交通安全の推進

- ①交通安全意識の向上
- ②各種団体と交通安全に向けた連携

評価指標

評価指標	指標の説明	基準値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
犯罪認知件数	1月～12月(単年) 市民1,000人当たりの件数 (埼玉県警察調べ)	6.6件	減少
消費者被害防止啓発活動実施回数	消費生活講座、街頭キャンペーン等の啓発活動の年間実施回数	19回	25回
市内人身事故件数	1月～12月(単年) (埼玉県警察調べ)	167件	減少

基本目標3

